

入場
無料

事前申込不要

徳島文理大学 公開講座



徳島文理大学

公開講座

2012

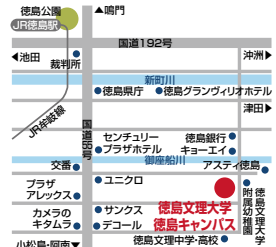
徳島キャンパス
香川キャンパス



香川キャンパス

徳島キャンパス

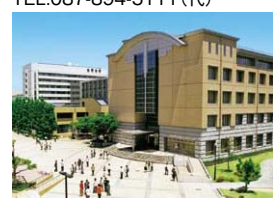
徳島市山城町西浜傍180
TEL:088-602-8000(代)



●駐車場をご用意しておりますが、スペースに限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

香川キャンパス

さぬき市志度1314-1
TEL:087-894-5111(代)



●駐車場をご用意しております。

「知と感性 文理融合の楽しみ」



徳島文理大学は各界で活躍するリーダーをお招きし、全8回(春季6回、秋季2回)の公開講座を無料で開催します。最先端のテクノロジーや医療、地域の文化や芸術など多様なテーマについてご講演いただき、日本を含む世界的な動向を踏まえ、地域や個人の方果たす役割について考えます。さらに、地元地域の方をコメントーターとしてお招きし、討論に参加していただきます。ぜひ、ご友人やご家族とお問い合わせの上、ご来場ください。

会場・日程・講師・講演テーマ

- 第1回** 5/16(水) 16:30~18:30 徳島キャンパス
 理化学研究所 発生・再生科学総合センター グループディレクター、医学博士
笹井芳樹氏 「試験管の中で臓器を作る：新しい再生医療の可能性」
- 第2回** 5/18(金) 15:00~17:00 香川キャンパス
 フリージャーナリスト
藤井和子氏 「ホームページ「妖怪通信」を発信して…妖怪民話から、日本人の心を探る。」
- 第3回** 6/ 6(水) 16:30~18:30 徳島キャンパス
 東京藝術大学音楽学部教授
佐野 靖氏 「生きる力」としての音楽
- 第4回** 6/ 8(金) 15:00~17:00 香川キャンパス
 有限会社サンクス代表取締役社長、ホルダー大学公認ワインディスター
松浦尚子氏 「五感を磨き、ビジネスにも役立つワインの魅力」
- 第5回** 7/ 5(木) 16:30~18:30 徳島キャンパス
 独立行政法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー、宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授、宇宙工学者、工学博士
川口淳一郎氏 「「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み」
- 第6回** 7/ 6(金) 15:00~17:00 香川キャンパス
 独立行政法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー、宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授、宇宙工学者、工学博士
川口淳一郎氏 「「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み」

※秋季講座(第7回、第8回)は、10月に開催する予定です。詳細が決まりましたらご案内申し上げます。

公開講座2012 「知と感性 文理融合の楽しみ」

お問い合わせ先 徳島文理大学 徳島キャンパス / 〒770-8514 徳島市山城町西浜傍180 TEL.088-602-8000 (代) URL <http://www.bunri-u.ac.jp/> e-mail gogo@tokushima.bunri-u.ac.jp
香川キャンパス / 〒769-2193 さぬき市志度 1314-1 TEL.087-894-5111 (代)

第1回

5/16水 徳島キャンパス 16:30~18:30 むらさきホール

講師：笹井 芳樹 氏

講演題目 「試験管の中で臓器を作る：
新しい再生医療の可能性」

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センターグループディレクター、医学博士
経歴：1962年兵庫県生まれ。京都大学医学部卒業後、神戸中央市民病院内科研修を経て、1992年同医学研究科博士課程修了。
UCLA医学部研究員、京都大学医学部助教授、京都大学再生医学科学研究所教授を経て2003年より現職。米国での研究では、70年来の謎であった「神経誘導因子」の分子実体とその作用機構を明らかにした。帰国後は初期胚やES細胞を用いた神経分化の基礎研究とその医学応用の基盤技術の開発を行っている。

講演内容 最近の発生学研究成果と幹細胞生物学の進歩が相まって、再生医学に必要な細胞を試験管内で作出す技術が注目されています。例えば、脳や網膜などは再生能が低い組織であり、疾病・損傷等による組織欠損は自然には修復されません。私たちの研究室では「発生場の微小環境」を試験管内で再現することで、ES細胞やiPS細胞からの神経組織を生み出す技術開発を行ってきました。この講演では最近可能になった立体的な脳組織や網膜組織の形成技術をご紹介します、その医学利用の可能性と課題についても議論したいと思います。

第2回

5/18金 香川キャンパス 15:00~17:00 村崎サイメモリアルホール

講師：藤井 和子 氏

講演題目 「ホームページ『妖怪通信』を発信して…
妖怪民話から、日本人の心を探る。」

フリージャーナリスト
経歴：1958年香川県立小豆島高等学校卒業、1962年奈良女子大学(英文科)卒業、(株)講談社入社1962年から2000年。その間に、アメリカの州立University of Wyomingへ留学。MA取得(1975年、International Affairs)。定年退職後、法政大学大学院(社会人コース、経営学)に進み、MBA取得(2003年)。

講演内容 実際に耳で聞いた民話(昔話と伝説を指す)を全国規模で訪ね歩いて15年が経ちます。その中からホームページ「妖怪通信」上に約半分の135話を掲載しています。対象は、妖怪・幽霊・怪異譚(かいいたん)を中心とした民話。ここから見えてきた日本人独特の心を探ってみたいと思います。例えば、怨念の心情とか、日本人の描く異界等。不思議にも、これらは今なお、現代人の心情に連綿と続いているのではないかと、と思います。

第3回

6/6水 徳島キャンパス 16:30~18:30 むらさきホール

講師：佐野 靖 氏

講演題目 「『生きる力』としての音楽」

東京藝術大学音楽学部教授
経歴：1957年徳島県小松島生まれ。徳島市立高等学校卒業後、東京藝術大学音楽学部楽理科に進学、同大学院(音楽教育専攻)修了。音楽学を服部幸三氏、音楽教育学を山本文茂氏に師事。1990年文部省在外研究員として渡独(ミュンヘン音楽大学)。音楽科カリキュラムや授業研究を軸に音楽教育の研究を展開。教科書編集や教育行政の協力者等の任にも携わる。「日本のうた」の調査研究やレクチャーコンサート、最近では音楽アウトリーチ活動の実践などにも取り組んでいる。
著書：「音楽教育論—子供・音楽・授業・教師」(共編)(教育芸術社)、「心に響く童謡・唱歌—世代をつなぐメッセージ」(東洋館出版社)、「唱歌・童謡の力—歌うこと=生きること」(東洋館出版社)

講演内容 平和な日常においては、音楽が生活になくてはならないものという意識は薄いかも知れません。ところが、昨年の東日本大震災において、震災直後の人々が求めたのは「まず水で、次に正しい情報、そして歌」だったことが新聞紙上にも掲載されました。音楽と人間と教育のかかわりについて、「歌うこと」を中心に全国各地の活動実践を紹介しながら(ときには会場のみならず一緒に歌いながら)講演したいと思います。

第4回

6/8金 香川キャンパス 15:00~17:00 村崎サイメモリアルホール

講師：松浦 尚子 氏

講演題目 「五感を磨き、ビジネスにも
役立つワインの魅力」

有限会社サンク・センス代表取締役社長、ホルダー大学公認ワインテイスター
経歴：神戸大学教育学部卒業。ベネッセに勤めた後、ホルダー大学醸造学部で学び、日本人では数少ないワインテイスター専門資格を取得する。2003年4月に有限会社サンク・センスを設立し、ワインセミナー、講演、執筆、ワインコンサルティング、イベント企画などの活動を通じて、ワイン知識と文化の啓蒙、普及に活躍している。2010年4月には、東京都港区白金に初のワインショップをオープン、WEBショップも同時に展開中。また、昨年には、自宅で学べる通信教材「ホームワイナリー」もリリースし、好評発売中。
連載：三菱東京UFJ銀行の情報サイト「SQUET」にて「松浦尚子の「ワイン読本」」連載中、IT系ニュースサイト「IT media エグゼクティブ」にて「松浦尚子のワイン&コミュニケーション」連載中、2月のアクセルランキング2,3位にランクイン

講演内容 今、第一線で活躍するビジネスパーソンにワインを学ぶ人が増えているのは何故でしょうか? 実際、レストランや各種パーティーで頻繁に見かけ、すっかり身近になったワイン。でも意外と知らない側面が多いのも事実です。改めてワインの魅力に迫り、すぐに役立つ知識としての飲み方や選び方についても楽しくお話ししていきます。

第5回

7/5木 徳島キャンパス 16:30~18:30 むらさきホール

7/6金 香川キャンパス 15:00~17:00 村崎サイメモリアルホール

講師：川口 淳一郎 氏

講演題目 「『はやぶさ』が挑んだ
人類初の往復の宇宙飛行、
その7年間の歩み」

独立行政法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー、宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授、宇宙工学者、工学博士
経歴：1978年京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空工学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任。2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、惑星探査プログラムグループプログラムディレクター(JSP/PEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで「はやぶさ」プロジェクトマネージャーを務める。
現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャーを務めている。
著書：「人工衛星と宇宙探査機」(コロナ社)、「航空・宇宙における制御」(コロナ社)、「ビークル(計測・制御テクノロジーズ)」(コロナ社)、「はやぶさ、そうまでして君は～生みの親が初めて明かすプロジェクト秘話」(宝島社)、「カラー版 小惑星探査機はやぶさ～玉手箱」は開かれた」(中公新書)

講演内容 「はやぶさ」は、2003年に打ち上げられ、小惑星イトカワへの着陸を果たし、試料採取を試みた後、2010年6月13日、7年間60億kmの往復の宇宙飛行を終えて地球に帰還しました。また、試料カプセルを無事降下させ、回収することに成功しました。これは、地球引力圏外の天体への人類初の往復の宇宙飛行でした。講演ではその科学と技術の意義とともに、飛行中の苦難とその対応について紹介し、得られた教訓、またそれから観た昨今の社会状況についてお話ししたいと思います。